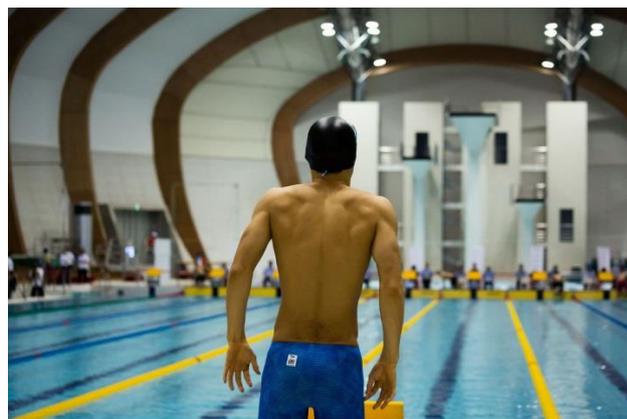


各位

コモンズ投信株式会社  
代表取締役社長 伊井哲朗  
東京都千代田区平河町 2-4-5

～ ザ・2020 ビジョン「第7期 コモンズ POINT（ポイント）（障がい者スポーツを応援するプログラム）」の応援先を（特）日本視覚障害者柔道連盟と（一社）日本知的障害者水泳連盟と決定致しました ～

このたび、コモンズ投信株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：伊井哲朗、以下「コモンズ投信」）は、当社の顧客、投資先、その他ステークホルダーと共に「今日よりも良い明日」をつくるという創業理念に基づくファンド「ザ・2020 ビジョン」の寄付プログラム、コモンズ POINT（障がい者スポーツを応援するプログラム）の第7期（ファンドの決算に合わせて第7期としています）応援先を、（特）日本視覚障害者柔道連盟と（一社）日本知的障害者水泳連盟の2団体と決定致しましたので下記にお知らせいたします。



## 記

### 1. コモンズ POINT（障がい者スポーツ応援プログラム）について

当社運用ファンドであるザ・2020 ビジョンは、2020年を起点として日本が大きく変わる、その「変化」をファンドを通じて皆さんと共有していきたいとの思いから2014年に設定されました。障がい者スポーツに理解が深まれば、社会的なダイバーシティ（多様性）への理解が深まり、バリアフリーやヒートアイランド対策も進むと期待されます。

それは同時に、東京というもっとも高齢化が進む都市が、高齢者にとっても住みよい都市となり、今後、世界の主要都市が高齢化する中で、日本が貢献できる分野も飛躍的に増えると考えています。

そこで、当ファンドから当社が受け取る信託報酬の1%程度を日本の障がい者スポーツの団体を応援する独自の応援プログラムとして、コモンズ POINT を設けました。

※ファンドからの拠出ではありません。

\*\*\*\*\* POINT-ポイント-とは \*\*\*\*\*

<https://www.common30.jp/fund2020/point.php>

ザ・2020 ビジョンの決算時に翌年度の応援先最終候補者を決定し、1年間広報活動などに協力します。

ザ・2020 ビジョンの当社が受け取る信託報酬の1%相当を寄付します。

連続しての受賞も可能とします。

ファンド第2期～4期は日本視覚障害者柔道連盟、第5期～6期は日本知的障害者水泳連盟を応援先として寄付ならびに広報活動協力等して参りました。

#### ○選定基準

- ・ 障がい者スポーツの振興に取り組み、日本のダイバーシティ推進に活躍が期待される個人及び団体。
- ・ 資金使途など、財務内容のディスクロースがしっかりとされていること。

#### ○選定方法

①最終候補者を事務局となる当社で選出した後、「ザ・2020 ビジョン」の受益者及び当社社員から、自分が推薦したい候補者を選び、理由と共に事務局に提出。

②外部審査員を含む最終選考委員会を開催し、受益者及び当社社員からの推薦理由も参考に応援先を決定しました。

\*\*\*\*\*

#### ○今回の選定方法

例年であれば応援先最終候補を3団体選定し選考を行いますが、次期、第7期（2020年1月～2020年12月）応援先については、今年2020年はいよいよ大舞台の本番の年ということで、コモンズ投信社内にて検討した結果、以下のように決定したく受益者であるお仲間のみなさまにも事前にご賛同いただき、1月7日に開催しました外部審査員を含む最終選考委員会において、2団体の応援を決定させていただきました。

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

第7期（2020年1月～12月）

#### ■応援先：

『日本視覚障害者柔道連盟』および『日本知的障害者水泳連盟』の2団体とする。

#### ■寄付金額：

2020年12月18日ファンド決算時に算出される金額を2等分し両団体に寄付する。

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

#### ○最終選考委員会メンバー 【写真 左から】

- 金子知史氏（日本財団パラリンピックサポートセンター）
- 馬越裕子（コモンズ投信株式会社 寄付のしくみ POINT 担当）
- 伊井哲朗（コモンズ投信株式会社 代表取締役社長）
- 田口垂希氏（日本郵船株式会社 広報グループ 社会貢献チーム・パラリンピアン）
- 青木高氏（公益社団法人 日本フィランソロピー協会 事務局長）

- 小澤直氏（日本財団パラリンピックサポートセンター 常務理事）
- 渋谷健（コモンズ投信株式会社 取締役会長）
- 原嶋 亮介（コモンズ投信株式会社 運用部 アナリスト）



#### ○今回の決定理由

寄付のしくみ POINT を設定して以来、これまで関係を築いてきた 2 団体の応援を、特別な年となる 2020 年こそ引き続き行っていきたいという声が社内でもあり、日本財団パラリンピックサポートセンターの助言もいただきながら今回の選定が進みました。

2020 年本番に向けて、そして当日、更には大会後も見据えて、2 団体の応援を行ってきたい所存です。

#### ○第 6 期応援先（一社）日本知的障害者水泳連盟に対する寄付報告

2019 年 12 月 18 日のザ・2020 ビジョンの決算において、第 6 期の寄付金額は【370,000 円】に決定しました。2019 年末までに当寄付を連盟に対して行いましたことをご報告申し上げます。

※ 第 5 期応援先の日本知的障害者水泳連盟に対する寄付金はみんなの水泳の絵 2019 年の開催に活用されました。

詳しくはこちらのブログ (<https://park.common30.jp/2019/11/2019.html>) をご覧ください。



### ○取材のお誘い

1月13日（月・祝）開催 第3回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会（会場：千葉県国際総合水泳場）にて、「みんなの水泳の絵」が展示されます。ぜひ、会場にて選手たちの作品をご覧ください。また代表選手をはじめとする選手たちによる競技大会にもご注目ください。

以上

お問い合わせ先：POINT担当 馬越裕子（03-3221-9230、yuko.umagoe@commons30.jp）

